



使用目的

本品は、一次性下肢静脈瘤（血管径20mm以下の大伏在静脈瘤又は小伏在静脈瘤）の伏在静脈本幹の治療に使用する。

※この装置を使用するにあたり、以下の条件を満たす必要があります。  
 ・6学会（日本静脈学会、日本血管外科学会、日本脈管学会、日本皮膚科学会、日本形成外科学会および日本インターベンショナルラジオロジー学会）による下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準を満たしていること。  
 ・当社による所定の講習が修了していること。

ELVeSレーザー1470仕様

レーザー発生素子	ガリウム砒素半導体素子
レーザー発振方式	連続波
レーザー波長・最大出力	1470nm±30nm・15W
ガイド光波長	635nm±10nm
構成	本体、フットスイッチ、インターロックプラグ、電源ケーブル
本体寸法・重量	370W × 85D × 275H(mm)・8.5kg
電源	100VAC・50/60Hz・450VA
レーザー製品クラス	クラス4
電撃に対する保護の形式	クラスI
保管条件	温度10～50℃／湿度10～90％／気圧700～1060hPa ※ただし、結露を生じないこと
耐用年数	5年(自主基準)

ラディアル2リングファイバー仕様(ELVeSレーザー1470付属品)

長さ・外径	2500mm・1.8mm
原材料	ポリアミド12、アクリレート、石英ガラス
滅菌種類	エチレンオキサイド滅菌(EOG)

一般的名称	ダイオードレーザー
販売名	ELVeSレーザー1470
医療機器承認番号	22600BZX00093000
クラス分類	Ⅲ・高度管理医療機器 特定保守管理医療機器(設置)

# ELVeS レーザー1470

Minimally invasive laser therapy of venous insufficiency



Endo Laser Vein System

[www.varixlaser.jp/](http://www.varixlaser.jp/)

低侵襲治療をサポートする

# ELVeS レーザー1470

## & ラディアル2リングファイバー

下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術は、静脈弁不全を伴った伏在静脈内にレーザー光を照射し、収縮・閉塞させて静脈逆流を止めることを目的とする方法です。

ELVeSレーザー1470は、独自のELVeS Radial 2Ringテクノロジーによりさらなる低侵襲治療をサポートします。

## レーザー装置

- 独自に開発した放熱能力が高いヒートシンクで薄型コンソールを実現しました。
- 各種モード(シグナルモード&セグメントモード等)でユーザーをサポートします。
- レーザー素子7個を内蔵していますので、余裕を持った照射ができます。



A unique system in terms of safety and flexibility



## 2Ring Technology

2ヶ所のリング(レーザー照射部)から全周的にレーザー光が照射されます。

- 18G穿刺針と6Fイントロジュースーシースで静脈アクセスが行えます。
- ファイバー先端位置を超音波画像とガイド光の両方で確認できます。
- ファイバー上に目盛がありますので、LEED (J/cm) の調節が容易です。

## 1470nm Laser

レーザー光は血液中のヘモグロビンや血管壁の水分に吸収されると、数msec以内に熱化して組織温度が上昇します。

波長1470nmレーザーは水に対する吸収係数が高く、810-1064nmと比較して約40倍となります。

